

コナガ顆粒病ウイルスに関する研究

1.香川県で採取されたコナガ顆粒病ウイルス曼陀系の
に対する病原性の評価

コナガ(*Plutella xylostella*)

渡邊丈夫・青木敏

香川県大野原町曼陀から採集したコナガ顆粒病ウイルス(PxGV)について,コナガ防除への利用を目的にコナガに対するその病原性を調査した。

1. PxGV を計量するのにウイルス精製液あたりに含まれる罹病死亡虫の生体重を相対量として利用することは可能だが,生産ロットによって10倍程度の活性差があった。
2. PxGV は,コナガ1~2令幼虫に対して高い活性を示したが,4令幼虫に対しては実用的な活性を示さなかった。
3. 15°C~25°Cの範囲で高温条件になるほどウイルス接種後死亡に至るまでの速度は直線的に速くなったが,30°Cでは速度上昇が鈍化した。
4. 温度条件は罹病死亡率に影響を与えなかった。